

寿都町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書
(令和4年度対象)

令和5年9月

寿都町教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	実施方針	2
第1章 教育委員会の活動状況		
1	教育委員会の会議の開催状況	7
2	教育委員会委員の活動状況	9
3	各種委員の活動状況	10
4	令和4年度予算の状況	11
5	教育関係者の表彰等	12
第2章 教育行政執行方針に基づく施策に関する点検・評価		
1	家庭教育	
	(1) 保護者が学ぶ機会の充実	
	家庭教育支援事業（ブックスタート）	13
	(2) 保育園との連携による家庭教育支援の推進	
	家庭教育支援事業（新1年生応援事業）	14
2	学校教育	
	(1) 確かな学力の育成	
	理科専科加配教員の配置	15
	学習支援員の配置	16
	英語教育の推進	17
	(2) 豊かな心の育成	
	道徳教育の充実	18
	生徒指導の充実	19
	体験的な活動の充実	20
	(3) 健やかな体の育成	
	体力・運動能力の向上	21
	健康教育の推進	22
	安全教育の充実	23
	(4) 信頼される学校づくり	
	学ぶ組織と指導力の向上	24
	学校・保護者・地域との連携	25
	組織的な学校運営	26
3	社会教育	
	(1) 地域による教育活動の推進	
	自然体験キャンプの開催	27
	放課後子ども教室の開催	28
	二十歳の祝いの実施	29
	(2) 地域人材の育成	
	学校支援地域本部事業	30

(3) 住民の主体的な学習活動の支援	
高齢者研修旅行の開催	31
(4) グローバル人材の育成	
イングリッシュキャンプの開催	32
英語サロンの開催	33
(5) 読書環境の整備	
文化センター図書室の充実	34
4 運動・健康づくりの推進	
(1) 生涯スポーツ活動の推促進	
体育団体会への支援	35
スポーツ教室の開催	36
体育施設の利用促進	37
(2) 運動による健康づくりの推進	
健康運動教室、イベントの実施	38
歩こう会の開催	39
(3) 食育と学校給食	
食育の推進	40
食育センターの運営	41
5 文化の伝承・振興	
(1) 地域文化の振興	
総合文化祭の開催	42
芸能鑑賞事業の開催	43
文化団体連絡協議会への支援	44
(2) 文化財の保存活用	
歴史的資源の保存活用	45
旧歌棄佐藤家漁場保存活用計画の策定	46
6 生涯学習環境	
(1) 学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備	
学校施設、社会教育、社会体育施設の管理運営	47
7 全体評価	48
資料	
1 学校の児童生徒・教職員数	49
2 施設利用者数	50

は　じ　め　に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」（平成20年4月1日施行）の施行を受け、寿都町教育委員会では、毎年「教育委員会の活動状況に関する点検・評価」を実施し、その結果に関する報告書を寿都町議会に提出するとともに公表をしております。

本年度は、令和4年度事業を対象に教育行政執行方針で示した施策・事業が着実に実施されているか、また、効果的に行われているかなどを点検・評価しました。

今後とも寿都町教育振興基本計画で掲げた理念の実現に向け、評価・点検を通じて、施策の検証と改善を図りながら、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年9月

寿都町教育委員会

令和5年度 教育に関する事務の点検及び評価に関する実施方針

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、寿都町教育委員会の権限に属する事務及び執行の状況について点検及び評価を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、その実施に関して必要な事項を定める。

2 基本的な方針

教育委員会は、毎年度、所管している事務の執行状況について点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性を明らかにし、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものとする。

3 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する現状
- (2) 教育行政執行方針等に掲げる各種施策の実施及び達成状況
- (3) その他点検及び評価を行うことが必要と認められる事務の実施及び達成の状況

4 点検及び評価の時期

点検及び評価は、前年度の施策について行うものとして、9月までに報告書をまとめ、教育委員会に附議するものとする。

5 点検及び評価の実施方法

- (1) 教育執行方針等に掲げる各種施策及び主要な事業について、点検・評価調書（別記様式1）を作成する。
- (2) 教育長は、担当者が作成した点検・評価調書を基に、点検及び評価の結果に関する報告書（構成及び項目は別記）をまとめ、教育委員会に附議するものとする。
- (3) 点検及び評価の結果については、重点施策展開、予算編成、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政に反映させるものとする。
- (4) 点検及び評価を行うに当っては、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の意見を聞くことができるものとする。

6 点検及び評価結果に関する情報の公表

点検及び評価結果に関する情報については、町議会への報告のほか、町民が容易に入手できる方法で公表に努めるものとする。

別記

○点検評価報告書の構成

1 はじめに

- ①あいさつ文
- ②点検及び評価に関する実施方針

2 教育委員会の活動状況

- ①教育委員会議の開催状況
- ②教育委員の活動状況
- ③各種委員会等の活動状況
- ④予算の状況
- ⑤教育関係者の表彰等

3 教育執行方針に基づく点検評価

- ①点検・評価調書（別記様式1）による事業毎（別紙項目一覧）の評価

■評価調書の総合評価における評価視点は次のとおりとする。

【視点】

必要性	・ ニーズに適合し且つ行政が行うべき必要性
	<input type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い
有効性	・ 町民の理解や満足度が得られているか
	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない
効率性	・ 費用や作業において効率的に実施できたか
	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い
達成度	・ 目的、目標を達成しているか
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成

②全体評価

4 各種資料

- ①学校の児童生徒数、教職員数
- ②各施設の利用状況

点検・評価調書

区 分					項目番号	
項 目						
事務事業名						
事業費		円	担当			
事務事業の概要	目的					
	取組の概要					
点検・評価結果	事務事業の効果					
	事務事業の課題と改善					
	総合評価	必要性	(ニーズに適合し且つ行政が行うべき必要性)			
			<input type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い			
		有効性	(町民の理解や満足度が得られているか)			
			<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない			
	効率性	(費用や作業において効率的に実施できたか)				
		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い				
	達成度	(目的・目標を達成しているか)				
		<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成				
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小				
その他						

別記

事業評価基本項目一覧（令和4年度対象事業）

事務事業名	備考
□家庭教育	
◎保護者が学ぶ機会の充実	
・ 家庭教育支援事業(ブックスタート)	1
◎保育園との連携による家庭教育支援の推進	
・ 家庭教育支援事業(新1年生応援事業)	2
□学校教育	
◎確かな学力の育成	
・ 理科専科加配教員の配置	3
・ 学習支援員の配置	4
・ 英語教育の推進	5
◎豊かな心の育成	
・ 道徳教育の充実	6
・ 生徒指導の充実	7
・ 体験的な活動の充実	8
◎健やかな体の育成	
・ 体力・運動能力の向上	9
・ 健康教育の推進	10
・ 安全教育の充実	11
◎信頼される学校づくり	
・ 学ぶ組織と指導力の向上	12
・ 学校・保護者・地域との連携	13
・ 組織的な学校運営	14
□社会教育	
◎地域による教育活動の推進	
・ 自然体験キャンプの開催	15
・ 放課後子ども教室の開催	16
・ 二十歳の祝いの開催	17
◎地域人材の育成	
・ 学校支援地域本部事業	18
◎住民の主体的な学習活動の支援	
・ 高齢者研修旅行の開催	19
◎グローバル人材の育成	
・ イングリッシュキャンプの開催	20
・ 英語サロンの開催	21
◎読書環境の整備	
・ 文化センター図書室の充実	22

事務事業名	備考
□運動・健康づくりの推進	
◎生涯スポーツ活動の促進	
・ 体育団体への支援	23
・ スポーツ教室の開催	24
・ 体育施設の利用促進	25
◎運動による健康づくりの推進	
・ 健康運動教室、イベントの実施	26
・ 歩こう会の開催	27
◎食育と学校給食	
・ 食育の推進	28
・ 食育センターの運営	29
□文化の伝承・振興	
◎地域文化の振興	
・ 総合文化祭の開催	30
・ 芸能鑑賞事業の開催	31
・ 文化団体連絡協議会への支援	32
◎文化財の保護・活用	
・ 歴史的資源の保存活用	33
・ 旧歌棄佐藤家漁場保存活用計画の策定	34
□生涯学習環境	
◎学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備	
・ 学校施設、社会教育、社会体育施設の管理運営	35

第1章 教育委員会の活動状況

第1章のポイント

教育委員会の会議の開催や活動状況、教育関係者の表彰など、令和4年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

1 教育委員会の会議の開催状況

寿都町教育委員会は4名の委員による定例会議を月1回程度開催し、教育行政の基本方針の決定や、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議します。

開催期日	付議案件等
令和4年4月22日 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度奨学資金会計の経理状況について ・各学校の校務分掌等について ・各工事等決定者について ・令和3年度社会教育、社会体育関係事業報告について ・令和4年度社会教育推進計画について ・令和4年度社会体育施設の運営について ・寿都町社会教育関係団体の認定に関する取扱要綱等の一部を改正する要綱について ・職務代理の承認を求めることについて ・寿都町学校運営協議会委員の任命について ・寿都町食育センター運営委員の委嘱について ・寿都町スポーツ推進委員の委嘱について ・寿都町運動促進委員の委嘱について
令和4年5月27日 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・各工事等決定者について ・職務代理の承認を求めることについて ・寿都町教育委員会職員の任用について ・寿都町食育センター運営委員の委嘱について
令和4年6月17日 (第3回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度準要保護世帯の認定について ・令和3年度寿都町学校給食会計収支決算について
令和4年8月25日 (第4回)	<ul style="list-style-type: none"> ・各工事等決定者について ・専決処分について（会計年度任用職員の任用について） ・専決処分について（会計年度任用職員の退職について） ・専決処分について（寿都町立学校教職員人事について） ・新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業期間等における町立学校職員の在宅勤務実施要領の一部を改正する要領について ・寿都町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する要綱について ・令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について ・令和4年度教育に関する事務の点検及び評価に係る実施方針について

<p>令和4年9月28日 (第5回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度寿都町立学校いじめ問題（第1回アンケート）に関する取組状況について ・寿都町教育委員会教育長職務代理者の指名について ・寿都町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（令和3年度事業対象）について
<p>令和4年12月2日 (第6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各工事等決定者について ・令和5年度寿都町教育行政執行方針の骨子について ・令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載について ・令和4年度補正予算について
<p>令和5年2月21日 (第7回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各工事等決定者について ・令和4年度寿都町立学校いじめ問題（第2回アンケート）に関する取組状況について ・寿都町全国及び全道大会出場補助金交付要綱の一部を改正する要綱について ・専決処分について（会計年度任用職員の退職について） ・令和4年度補正予算について ・令和5年度寿都町教育行政執行方針について ・公の施設（寿都町青少年研修会館）の指定管理の指定について ・令和5年度寿都町教育予算について ・令和4年度寿都町スポーツ表彰受賞者の決定について ・令和5年度寿都町学校給食会計予算について
<p>令和5年3月24日 (第8回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度寿都町奨学金貸与者の認定について ・専決処分について（令和5年度寿都町立学校教職員人事） ・専決処分について（令和5年度寿都町教育委員会職員人事） ・修学旅行の引率業務等に従事する寿都町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領について ・寿都町教育委員会傍聴人規則の全部を改正する規則について ・寿都町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について ・寿都町教育委員会部局職員の人事評価実施規程の一部を改正する規程について ・寿都町立学校管理規則の一部を改正する規則について

2 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、定例会議や各学校の行事、表彰式などに出席するほか、研修会に出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

開催期日	活動内容	参加状況
令和4年4月1日	教職員辞令交付式	森林委員 他
令和4年6月11日	寿都小学校運動会	森林委員 他
令和4年6月12日	潮路小学校運動会	森林委員 他
令和4年6月17日	潮路小学校・寿都高等学校訪問（学校経営方針）	森林委員 他
令和4年6月27日	寿都小学校・寿都中学校訪問（学校経営方針）	森林委員 他
令和4年10月1日	寿都中学校学校祭	森林委員 他
令和4年12月2日	寿都小学校訪問（教職員との懇談）	森林委員 他
令和4年12月6日	寿都中学校訪問（教職員との懇談）	星委員 他
令和4年12月13日	潮路小学校訪問（教職員との懇談）	星委員 他
令和5年3月15日	寿都中学校卒業式	森林委員 他
令和5年3月18日	潮路小学校卒業式	森林委員 他
令和5年3月20日	寿都小学校卒業式	森林委員 他

3 各種委員の活動状況

寿都町教育委員会に設置している主な審議機関は次のとおりです。

名 称	委員数	開催日	主な協議事項
社会教育委員 (兼 総合文化センター運営委員)	10	R4. 5. 20	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度社会教育・社会体育事業の実績について 令和4年度社会教育推進計画について (書面開催)
		R4. 11. 24	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会教育・社会体育事業経過報告について 令和5年度社会教育事業について (書面開催)
		R5. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会教育・社会体育事業経過報告について 令和4年度社会教育・社会体育施設利用状況経過報告について
スポーツ推進委員	8	R4. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度社会体育施設利用状況について 令和4年度の年間事業計画について (書面開催)
		R4. 12. 12	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会体育事業経過報告について 令和5年度社会体育事業について (書面開催)
		R5. 3. 16	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会体育事業経過報告について 令和4年度社会体育施設利用状況について (書面開催)
食育センター運営委員	10	R4. 6. 14	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度寿都町学校給食会計収支決算報告 寿都町食育センター運営について
		R5. 2. 13	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度給食費の改正(案)について 令和5年度年間給食数の取扱いについて 令和4年度寿都町学校給食会計収支予算(案)について 寿都町食育センター運営状況について
文化財保護調査委員	6		
寿都町歴史文化保存活用委員	13		
寿都町運動促進委員	9	R4. 5. 20	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度運動プログラムの日程と内容について 春季ラジオ体操講習会の中止について (書面開催)
		R4. 12. 12	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会体育事業の事業経過報告 令和4年度社会教育・社会体育施設の利用状況経過報告 令和5年度の事業について
		R5. 3. 16	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会体育事業報告について 令和4年度社会体育施設利用状況報告について みんなでラジオ体操について

4 令和4年度予算状況

教育費最終予算の内容（項、目別予算） (千円)

項 及 び 目	予 算 額
1 教育総務費	88,577
(1) 教育委員会費	1,096
(2) 事務局費	87,481
2 小学校費	86,835
(1) 学校管理費	57,676
(2) 教育振興費	29,159
3 中学校費	72,406
(1) 学校管理費	70,320
(2) 教育振興費	2,086
4 社会教育費	77,818
(1) 社会教育総務費	10,186
(2) 文化センター費	40,208
(3) 文化財費	27,424
5 保健体育費	95,400
(1) 保健体育費	6,642
(2) 社会体育施設費	44,069
(3) 給食費	44,689
合 計	421,036

5 教育関係者の表彰等

(1) 寿都町スポーツ表彰

ア 優秀賞

(氏名及び団体名)	(所属)	(競技種目)
成田 優真	(寿都 J B C)	バドミントン
山田 蒼汰	(寿都野球スポーツ少年団)	軟式野球
柴田 航大朗	(寿都野球スポーツ少年団)	軟式野球
米澤 駿	(寿都野球スポーツ少年団)	軟式野球

イ 奨励賞

大島 楓空	(寿都 J B C)	バドミントン
川地 優生	(寿都 J B C)	バドミントン
大島 結桜	(寿都 J B C)	バドミントン
八戸 美沙	(寿都 J B C)	バドミントン
京野 朱璃	(寿都 J B C)	バドミントン
草沢 未莉弥	(寿都 J B C)	バドミントン
千葉 遥斗	(寿都水泳少年団)	水泳
蝦名 芙羽子	(寿都水泳少年団)	水泳
山本 実和	(寿都水泳少年団)	水泳
千葉 蓮絆	(寿都水泳少年団)	水泳
三木 心乃香	(寿都水泳少年団)	水泳
山田 優衣	(寿都ソフトテニス少年団)	ソフトテニス
米澤 芽唯	(寿都中学校)	バドミントン
飯島 実咲	(寿都中学校)	バドミントン
工藤 颯太	(寿都中学校)	バドミントン
高木 悠希	(寿都中学校)	バドミントン
三上 愛心	(寿都中学校)	バドミントン
元山 心結	(寿都中学校)	水泳
佐藤 ゆきな	(寿都高等学校)	卓球
三浦 碧唯	(寿都高等学校)	卓球
大島 琴音	(寿都高等学校)	バドミントン
木田橋 優斗	(寿都高等学校)	バドミントン
山本 文菜	(寿都高等学校)	バドミントン
秋南 聖也	(寿都高等学校)	テニス
前野 夢飛	(寿都高等学校)	テニス
渡辺 楓雅	(寿都高等学校)	テニス
寿都野球スポーツ少年団	(同左)	軟式野球
寿都中学校バドミントン部	(同左)	バドミントン
寿都中学校野球部	(同左)	軟式野球
寿都高等学校テニス部	(同左)	テニス
寿都高等学校男子バドミントン部	(同左)	バドミントン
寿都高等学校女子バドミントン部	(同左)	バドミントン

(2) 関係団体表彰

・ 寿都町文化団体連絡協議会功績者表彰

ア 文化賞

寿都中学校器楽部	(寿都中学校)	(リコーダーコンテスト 全国大会入賞)
----------	---------	------------------------

第2章 教育行政執行方針に基づく評価

第2章のポイント

「令和4年度教育行政執行方針」に沿って教育委員会の活動の点検・評価を行っています。

執行方針で示した項目について、実施状況を中心に、事業の成果、現状、課題や今後の方向性を整理しております。

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	家庭教育		項目番号	
項 目	保護者が学ぶ機会の充実		1	
事務事業名	家庭教育支援事業（ブックスタート）			
事 業 費	19,140 円	担 当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目 的	保護者に家庭での読み聞かせについての教育を行うとともに、親子の読書活動を通して、子どもの読書活動を推進する素地を育成する。親子の健やかな家庭教育環境のため、子育て支援に関する様々な情報と機会を提供する。本を手渡すことによって家庭での読書習慣づくりを図り、図書室の利用を促進する。		
	取組の概要	日時：乳児健診（3ヶ月健診）時 会場：寿都町総合文化センター 和室 対象：18名（参考：令和3年度6名） 指導：図書運営員 内容：絵本2冊贈呈するとともに、健診の合間に絵本の読み聞かせを行い、家庭での読み聞かせ習慣の促進と家庭教育についての情報提供を行う。		
事務事業の効果	事務事業の効果	乳幼児がいる保護者の教育の場となり、同時に子どもが本に触れる機会を促進することができた。		
	事務事業の課題と改善	乳幼児が本に触れる機会の提供として効果がある。図書室の日常的な利用促進を図る場として、活用方法を検討していく。		
点検・評価結果	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 子育てに興味・関心が高い乳児期の保護者へ個別指導ができる場として家庭教育支援と読書環境整備に重要な事業である。	
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 多くの家庭が読み聞かせを実施しており、事業の意義を理解している。 しかし、図書室の日常的利用にまでは至っていない。	
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 町民課と連携し、乳児健診内で効率よく実施できている。 ボランティアの協力を得て、効率的に運営できている。	
		達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ほぼ100%の保護者に個別指導ができる場として、家庭教育・読書の情報を提供できていることから、目的は達成している。	
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小	
		今後の方向性	運営体制の強化とともに、全保護者への個別指導の貴重な機会として維持していく。	
そ の 他				

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	家庭教育			項目番号	
項 目	保育園との連携による家庭教育支援の推進			2	
事務事業名	家庭教育支援事業（新1年生応援事業）				
事 業 費	0 円	担 当	住民学習推進係		
事務事業の概要	目 的	近年、成長期に必要な不可欠な基本的生活習慣の乱れが学習意欲や気力、体力の低下の大きな要因の一つであると指摘されている。生活習慣と子どもの学習・体力には密接な関係があり、家庭での取り組みが重要である旨の啓発をし、子どもの健やかな成長のための基本的生活習慣の確立を目指す。			
	取組の概要	日時：令和4年10月20日（木） ※就学時健診と併せて実施 会場：寿都町総合文化センター 和室 対象：次年度就学児の保護者 指導：教育委員会 田村 一茂 内容：就学前に行いたい家庭教育について			
点検・評価結果	事務事業の効果	保護者が子育ての注意点を知るとともに、学校に対する不安や疑問を解消できた機会となった。			
	事務事業の課題と改善	就学時健診に併せた開催で、限られた時間内の事業のため必要な情報を的確に伝えることが必要である。			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 保護者は子育ての要点のことについて学習することができた。 また、学校も保護者の雰囲気をつかめることが必要である。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 啓発や情報提供は十分に行えているが、保護者の受け止め方や浸透具合に個人差があるので、わかりやすく明確に伝えるように工夫する。		
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 就学児健診と併せることで、対象者のほぼ全員に対して指導する機会を持つことができている。		
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 保護者への情報提供や啓発を十分行えるよう、学校と協働し進める。		
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 具体的な行事や評価、保護者の不安等情報交流の時間も確保できるよう検討。			
そ の 他					

点検・評価調書

区 分	学校教育			項目番号	
項 目	確かな学力の育成			3	
事務事業名	理科専科加配教員の配置				
事 業 費	0 円	担 当	総務管理係		
事務事業の概要	目 的	複数教員による指導や習熟度に応じたきめ細かな指導を行い、基礎的・基本的な学力を確実に定着させる。 両小学校に理科専科の加配教員が配置されたことにより、専門性を生かした質の高い授業を実現し、学力向上に係る取組を充実させる。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の全授業を専科教員が担当 ・地域の自然等を活用した授業展開を構築 ・生活体験や自然体験を充実させ、理科好きを増やす 			
点検・評価結果	事務事業の効果	児童アンケートにおいて、「理科が好き」「理科の授業内容がよくわかる」と回答した児童が85%以上となった。 専科教員の配置により学級担任の空き時間ができ、学級担任は教材研究や学級事務に取り組む時間が確保された。			
	事務事業の課題と改善	ICT機器を効果的に活用し、データを分析・吟味する力や考察する力を向上させる。 両小学校を兼務している立場を生かし、小学校間の連携や情報交流を行う。			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 専科教員の配置により、理科への興味関心が高まっている。 学級担任の負担軽減も図られるため、必要性は高い。		
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 専門的な指導の充実により、学力の向上が図られた。学習意欲の向上、主体的に学習に取り組むことができるようになった。		
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 実施計画等を作成し、検証改善を実施。効率よく加配教員を活用している。		
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 実施計画で設定した目標を達成している。			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 理科専科の加配教員が継続して配置されるよう、専門的な指導の充実や学級担任の負担軽減を図る取組を推進していく。			
そ の 他					

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	学校教育			項目番号	
項 目	確かな学力の育成			4	
事務事業名	学習支援員の配置				
事 業 費	11,035,370 円	担 当	総務管理係		
事務事業の概要	目 的	一斉指導の中では理解に困難が生じる児童に対し、個別に指導することにより、学習に遅れのある児童をつくらず、学校全体としての基礎的・基本的な学力の定着を図る。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿都小学校：町内の教員免許等を有している者を3名配置 ・ 潮路小学校：町内の教員免許等を有している者を3名配置 ・ 担任との打合せ及び職員会議へ出席し、支援体制の共有及び協議を行う ・ 学校便り等で、保護者へ活動（指導）内容について周知 ・ 放課後学習の実施 			
点検・評価結果	事務事業の 効果	低学年において支援員がじっくり指導しており、児童が安心して学習できている。学校だより等で保護者への周知も行っており、指導体制については評価が高く、期待も大きい。 複式学級においては、学習支援員の補助が必要であり、担任の負担も軽減されている。			
	事務事業の 課題と改善	学力の定着及び向上のため、指導方法に係る課題を洗い出し、工夫改善を行うとともに有資格者の人材確保が必要。			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 学習に遅れがちな子や苦手意識のある子をつくらないためにも、一斉指導のほかに、個別にきめ細かな指導を行う支援員が必要である。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 特に支援が必要な低学年、中学年に配置しているが、T2の環境に慣れ積極的な学びが損なわれないよう、工夫が必要である。		
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 低学年、中学年に限らず、高学年においても支援を必要とする児童への支援が行えるよう、時間割等の調整を行う必要がある。		
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 T2態勢で支援している現状が、下位層の維持に留まっているため、上位層の向上及び全体的な底上げとなる指導体制が必要である。		
事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小			
今後の方向性	学校の要望と現場の実態を把握しながら、引き続き学習支援員を活用し児童の基礎基本の定着を図っていく。				
そ の 他					

点検・評価調書

区 分	学校教育		項目番号	
項 目	確かな学力の育成		5	
事務事業名	英語教育の推進			
事業費	8,789,960 円	担 当	総務管理係	
事務事業の概要	目 的	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、英語を使える寿都の子を育成する。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語指導員（ALT）を1名採用し、小中学校での英語授業の補助だけでなく、高校での授業補助を実施している。 ・日本人英語指導職員を1名採用し、小学校2校で担任の補助及びアドバイザーを担う。 ・英語検定の推奨 		
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導職員の配置により、指導案づくりや授業展開など、担任への確かなアドバイスやサポートが出来ており、外国語活動がスムーズに行なわれている。 ・ALTの活用により授業の幅が広がり、児童生徒の関心・意欲向上につながっている。 ・英語検定の推奨など、意欲的に英語を学ぶ環境が作られている。 		
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・より現実的な授業や活動の実践など、英語指導職員を積極的に活用する。 ・英語検定の活用など、地域住民の英語への関心を高めることが必要である。 ・地域全体で英語に取り組む仕組みづくりを住民学習推進係と連携し検討する。 		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い グローバル社会を生きていくためには英会話の習得が不可欠であり、そのためには地域に英語を広める人材と環境が必要である。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 小中高での授業補助により、充実した学習が行えた。ALTの活用により、英語に親しみを持たせることができた。
効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 学校での英語教育推進は、目標どおり進めることができた。英語指導員が地域で活躍できる場面を作ることが必要。		
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 学校での英語・外国語活動において、充実した取組みができた。学習した英語を使う体験活動の充実を図る。	
今後の方向性			事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小
		学習した英語を実際に使う体験活動を充実させ、コミュニケーション能力の向上及び国際化時代に対応した英語を使える人材の育成を目指す。		
そ の 他				

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	学校教育			項目番号
項 目	豊かな心の育成			6
事務事業名	道徳教育の充実			
事 業 費	0 円	担 当	総務管理係	
事務事業の概要	目 的	道徳教育では、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などを養う。道徳の時間においては、これらを各教科等と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、進化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成する。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳」の時間（小1 34h、小2～中3 35h）を要として、各学年を通して「決まり」「礼儀」「自分の役割や自覚」「命の大切さ」「公德心」「協調性」などを学習 ・外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動のそれぞれの特質に応じながら、学校の教育活動全体を通じて学習 ・外部人材をゲストティーチャーとして活用 		
事務事業の効果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間を参観週間に充てるなど、家庭と連携して道徳教育を推進する取り組みが定着してきており、保護者が学習内容や指導方法を把握できることにより、家庭と連携した道徳教育の推進ができた。 ・小、中学校ともに、道徳推進教員を位置づけ、年間計画をたて学校全体で取組んでいる。 		
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が日常の体験やそのときの考え方、感じ方を生かした道徳的価値の理解を深めたり、自己を見つめたりする指導の工夫が必要である。 		
点検・評価結果	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 人格形成の基盤となる子どもたちの心を豊かにし、人間性を育むため 現代だからこそ、道徳教育の重要性は増している。	
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 価値観や考え方など、一人一人の内面に触れることのできる授業で 道徳的価値や自覚、生き方等についての思考などに効果がある。	
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 教員だけでなく、地域住民を外部講師として活用した授業を展開するなど、題材や時期、人材の確保等、年間で効率よく取り組んでいる。	
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 道徳教育推進教員を中心とした、評価方法についての具体的な研修、 取組みについては進んでいない。	
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小	
		今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進教員による先進地視察の実施 	
そ の 他				

点検・評価調書

区分	学校教育			項目番号	
項目	豊かな心の育成			7	
事務事業名	生徒指導の充実				
事業費	0円	担当	総務管理係		
事務事業の概要	目的	成長・発達を促進する側面と現実的な問題解決を図る側面から、一人一人の児童生徒の人格の価値を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導援助する。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題への対応（各校、年2回いじめアンケートによる実態把握） ・教育、健康相談の実施（子供理解支援ツール「ほっと」の活用） ・生活リズム調査の実施 ・家庭訪問の実施 			
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な健康相談や調査等の実施により、児童生徒の状態把握ができるとともに、日常的に見取る材料として活用できる。 ・いじめ調査及び「ほっと」の活用により、児童生徒の心に寄り添うことで、いじめや不登校の未然防止に繋がっている。 			
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導をする教職員と児童生徒の信頼関係の向上 ・教職員全体が情報を共有し、学校全体で取組む意識の向上 			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 教職員一人一人が、丁寧・適切に指導を行い、さらに学校全体の取組となる必要がある。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 若い教職員が多いため、実践の中で経験を積んでおり、管理職の指導や、ベテラン教員の助言が必要である。		
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 定期的な調査等の実施により、児童生徒の困り感や問題行動にいち早く対応できており、組織的・計画的な生徒指導に繋がっている。		
達成度		<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 児童生徒一人一人に対し、丁寧に対応・指導しようという学校全体の姿勢が小中学校の児童生徒の言動に表れている。			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 児童生徒の状態把握を継続し、抱えている問題を見落とすことなく、丁寧・適切な指導を行う。また、問題が発生した場合は教職員全体で共通理解を図り、組織的に対応していく。			
その他					

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	学校教育			項目番号
項 目	豊かな心の育成			8
事務事業名	体験的な活動の充実			
事 業 費	451,040 円	担 当	総務管理係	
事務事業の概要	目 的	地元にある豊かな自然を体験したり、ふるさとの様々な職業、人達に触れ学習することにより、郷土愛や人や自然、職業に対する思いなど、豊かな人間性、職業観を育てていく。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿都小学校では「ふうタイム」、潮路小学校では「おしよろタイム」と称して総合的な学習の時間を中心に、各教科の中でふるさとについて学習 ・ 中学校の総合的な学習の時間では、これまでのカリキュラムを見直し、全学年で地域の魅力や観光資源等を活用し、ふるさと学習を実施 ・ 小中高の学校間で連携したキャリアノートの作成 		
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿都町の特徴や歴史、産業などを学ぶことにより、自分の住むまちに対する興味、関心を高めることができた。 ・ 町内の関係機関と連携し、幅広い職業について学習を進めることで、地域と学校、児童生徒と住民のつながりが深まった。 		
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだ成果の活用について、住民学習推進係と連携した協議が必要。 ・ 自ら課題を見つけ主体的に学び、よりよく問題を解決できる資質と能力を育成するため、体験学習の工夫と限られた人材等に頼らない幅広い学習を検討する。 		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 課題発見、解決のための調べ学習など一連の取組において、自ら学び考える、問題解決能力などを育成するために重要である。	
	総合評価	有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 身近な題材による意欲的な学習と地域との触れ合いの効果はあるが、学んだ成果を活用する場面があることで、より学びが深まる。	
総合評価	効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 年間計画に沿って計画的に学習を進めることができた。各学年の計画が効果的な学びになっているのか、見直しが必要。		
総合評価	達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 各学年において、地域の協力を得ながら取り組んだことで、計画的な学びができた。		
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 補助事業を継続実施する。学んだ成果の活用方法を検討する。		
そ の 他	コミュニティースクール推進事業			

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	学校教育			項目番号	
項 目	健やかな体の育成			9	
事務事業名	体力・運動能力の向上				
事 業 費	0 円	担 当	総務管理係		
事務事業の概要	目 的	学習する上で不可欠な健康な心と体を養うため、家庭と連携しながら基本的な生活習慣の確立と体力・運動能力の向上を図る。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣調査を実施し現状を把握 ・全国学力・学習状況質問紙調査で生活習慣の状況を把握 ・体育の時間を活用した「新体力テスト」の実施、朝や休憩時間など授業以外の時間を活用し、縄跳びやマラソン等、年間を通じ各校工夫した取組を実施 ・中学校では、部活動の中で積極的に体力アップメニューを行うとともに、体育の時間にマラソン記録会を行い基礎体力の向上を図る 			
点検・評価結果	事務事業の効果	(8種目実施) 全国平均を上回ったもの 【小学生】男子1種目(反復横とび)・女子4種目(長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、ソフトボール投げ) 【中学生】男子1種目(反復横とび)・女子2種目(反復横とび、ハンドボール投げ)			
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業における運動量の確保。 ・家庭でのテレビやゲーム等の実施時間より、体を使う遊びや運動機会を拡充。 ・地域での少年団活動や地域活動等による体力・運動能力向上の取組みの拡充。 			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 健康でたくましい心身の育成と体力・運動能力向上のためには、計画的・継続的な取組が不可欠である。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 様々な活動を行っているが、結果に現れにくい。学校の体育の授業等に限らず、地域、家庭と連携を強化した取組が必要。		
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 限られた時間を工夫して取組んだことで、一部体力向上が図られた。便り等で、取組の様子を具体的に保護者へ周知することができた。		
達成度		<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 体力・運動能力の向上には、計画的に関係機関と連携するとともに、組織的に改善のための協議を重ねる必要がある。			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 社会教育事業と連携し、生活習慣の改善を図る。			
そ の 他					

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	学校教育			項目番号	
項 目	健やかな体の育成			10	
事務事業名	健康教育の推進				
事 業 費	1,089,275 円	担 当	総務管理係		
事務事業の概要	目 的	児童生徒に、生涯にわたり健康で充実した生活を送る能力を身に付けさせるため、教科「保健体育」で心身の健康や安全、全般についての知識を習得させるとともに、特別活動や日常的指導を通じて健康な生活に関する態度を習得させる。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフスキル教育、WYSH教育、性教育の実践 ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」活動の推進 ・ 歯磨き指導、フッ化物洗口（小学校全学年の希望者）の実施 ・ 薬物乱用防止教室の実施 ・ 家庭との連携による生活リズム調査の実施 ・ 食育指導の実施 			
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達段階に応じた健康教育の実施により、自分の心と体についての知識を得ることにより、周囲の友達や家族の健康について考え、自分とその周りを大切にしようとする意識が育まれている。 ・ 歯磨き指導は、直接、学校歯科医からブラッシング指導を受けることにより、虫歯予防の意識向上が図られている。 			
	事務事業の課題と改善	健康で充実した生活を送ることは、家庭と密接に関わることであり、家庭へのアプローチを含め、家庭とより連携を強化した取組が必要である。			
	総合評価	必要性	<input type="checkbox"/> 必要性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 学校で取組むべきことを精査し、家庭と連携した改善のための取組を見直す。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 成果が見えにくい分野であり、計画的に検証、取組の改善が必要である。		
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い フッ化物洗口は学校と連携し、安定して実施されている。		
達成度		<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 現在の取組は継続的に行われているが、目的達成のためには家庭との連携が重要である。			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 学びの定着のため、現在の取組を継続するとともに、役場町民課健康づくり系の協力を得ながら、各指導教育に取組む。			
そ の 他					

点検・評価調書

区 分	学校教育			項目番号	
項 目	健やかな体の育成			11	
事務事業名	安全教育の充実				
事業費	0 円	担 当	総務管理係		
事務事業の概要	目 的	日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できるような資質や能力を養う。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施 ・一日防災学校の実施 ・避難訓練（火災・地震津波・不審者）の実施 ・安全マップ、防災マニュアルの見直し、改善 ・ネットトラブル防止教室の実施 			
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した避難訓練の実施により、実効性のある訓練が実施できている（小中学校で一日防災学校実施） ・通学路や生活地域の安全確保のため、安全マップを更新することにより、子供の意識啓発に繋がった。 			
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携し、災害を想定した実効性ある訓練にするため、首長部局との連携が必要。 ・ネットトラブルが起きないように、継続した啓発教室の実施 ・各種マニュアルの定期的な見直し 			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 学校でやるべきことの精査及び関係機関と連携した取組が必要。 トラブルに巻き込まれないよう、啓発が不可欠である。		
			有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 訓練の訓練にならないよう、実効性のある取組を行うことで、意識啓発に繋がった。	
効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 限られた年間計画の中で、効率よく実施されている。			
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 家庭・地域との連携を強化し、トラブルの未然防止、実効性のある訓練を実施する取組が必要である。		
今後の方向性	事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 地域とともに災害を想定した訓練の実施を検討。		
そ の 他					

点検・評価調書

区分	学校教育			項目番号	
項目	信頼される学校づくり			12	
事務事業名	学ぶ組織と指導力の向上				
事業費	406,262 円	担当	総務管理係		
事務事業の概要	目的	教員の職責を遂行するにあたり、絶えず研修に努め信頼と指導力のある教員の育成を図るとともに、経験年数に応じて求められる資質や能力を培うため、研修に参加しやすい環境を整える。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> 管内の各種研修、校内研修、町内研修のほか、全道の研修に参加 後志教育研修センター研修講座参加 小中高連携推進委員会（学力ベーシック部会・ふるさとキャリア推進部会・コミュニケーション推進部会） リモートの活用等、開催方法を工夫し資質・能力の向上を図った。 			
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加することにより、個人のスキルアップや意欲の向上が図られた。 小中高連携推進委員会において、乗入れ授業や授業参観等の実施により、小中高の接続方法や指導法の共通化など、研修を深めることができた。 			
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が相互に高めあうために、研修の成果を個人だけでなく、学校全体に活かす校内体制づくりが求められる。 研修日程など、教職員が積極的に研修に参加しやすくなるような環境（体制）整備を主催者へ要望していく。 研修参加に限らず、教員間や学校間でも主体的に学ぶ意欲が必要である。 			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 教員として求められる資質・能力の向上のため、研修に参加しやすい環境整備が必要である。		
			有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い さまざまな取組を実践しているが、取組みが形骸化しないよう、目指す方向性を見据えておくことが必要である。	
効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 学校運営に支障のないよう、工夫して計画的に研修へ参加している。			
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 各学校において計画的な研修参加の機会が保たれているが、研修成果を学校全体で共有する体制に課題が残る。		
今後の方向性	事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 教員の資質・指導力の向上を図るため、多くの研修に参加できるよう今後も継続して補助していく。		
その他	学校経営研究会事業補助、町教育研究会運営事業補助				

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	学校教育			項目番号	
項 目	信頼される学校づくり			13	
事務事業名	学校・保護者・地域との連携				
事業費	82,700 円	担 当	総務管理係		
事務事業の概要	目的	子供の教育には、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に連携することが重要なため、学校においては保護者や地域の様々な意見や要望を的確にとらえ学校運営に反映させ、地域に開かれた学校づくりを目指していく。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の設置、熟議の実施 ・PTA活動、学校評価を通じ組織的、継続的に運営の改善を図る ・各種便りやホームページでの情報発信により、保護者や地域住民に説明責任を果たすとともに、学校への信頼、理解を求める取組を行う ・学校支援地域本部事業による学校支援ボランティアの活用 ・学校評価 			
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会での「熟議」を通して、地域の様々な考えを学校運営に反映することができた。 ・学校評価の結果から見直しや改善を図る際、地域の学校であるという意識が学校に出てきた。 ・生活リズム調査により、保護者と連携して改善に向けた取組ができています。 ・各種便りやHP等で積極的に情報を発信することにより、学校への信頼、理解を求めることができた。また、町民の行事への関心を高めることができた。 			
	事務事業の課題と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化 ・学校（子供たち）が地域の力になる場面づくり ・地域の各関係機関とのネットワーク化、パイプづくり ・学校支援ボランティアの発掘、人材確保 			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 過疎化傾向にある本町においては、地域コミュニティの核として学校 がその機能を果たすことで、地域の教育力を持続させる。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 各校のPTA活動及び学校運営協議会が、学校の教育活動に理解と 共通認識を持ち、学校を支援できている。		
効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 各学校において計画的に実施できた。また、土曜授業とPTA活動を 効率よく実施することができた。			
達成度		<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 地域資源や人材の活用は安定しているが、人材が固定化しつつある。			
事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小			
今後の方向性	学校課題と地域課題の共通する課題を洗い出し解決する仕組み（ネットワーク・パイプ）づくり。				
その他	町PTA連合会事業補助				

点検・評価調書

区分	学校教育		項目番号	
項目	信頼される学校づくり		14	
事務事業名	組織的な学校運営			
事業費	4,498,560 円	担当	総務管理係	
事務事業の概要	目的	多様化・複雑化する子供の対応や学校に求められる役割が増える中で、特色ある自律した学校を目指すために、校長のリーダーシップのもと教職員が一致協力し、組織的、機動的な学校運営を行う。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の整理、合理化（校務支援システムの活用等） ・会議のスリム化（マイクロソフト 365 の活用） ・職員間の連携（ワンドライブによる情報の共有化） ・教職員の評価 ・学校運営協議会の設置 ・I C T 機器の活用 		
点検・評価結果	事務事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において校務分掌の整理が図られ、適切な役割分担と連携により機能的になった。 ・職員会議のペーパーレス化等により、会議時間が短縮された。 ・校務支援システムの活用により、校務に係る時間が短縮された。 ・学校運営協議会委員の意識と、住民の学校に対する関心も高まってきている。 		
	事務事業の課題と改善	学校全体の総合力を高め、組織的、機動的な学校運営につなげるため、教職員一人一人の意識向上を図る必要がある。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 教職員一人一人の指導力、知識、情報を学校全体で共有し総合的に児童生徒や保護者と向き合うことが最も必要である。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 会議のスリム化、校務分掌の整理など各校の取組みは合理的に進められている。
		効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 校務支援システムにより校務にかかる時間を短縮でき、教材研究や児童生徒と向き合う時間の確保に繋がった。
			達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 3校が独自性を持ちながらも、寿都町が目指す教育の方向性に向けて進むためには、教職員一人一人の意識向上、学校力向上が必要。
今後の方向性		事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 働き方改革を踏まえ、教職員の勤務時間を短縮する取組を検討する。
その他	校務支援システム（周辺機器）利用料			

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	社会教育	項目番号	
項 目	地域による教育活動の推進	15	
事務事業名	自然体験キャンプの開催		
事 業 費	89,796 円	担 当 住民学習推進係	
事務事業の概要	目 的	共同生活の中で様々な体験を通し、自立性や協調性、規律の大切さを身に付けさせるとともにリーダーを育成する。また、子どもたちが地域の豊かな自然に触れ、地域の宝を再発見出来る手法を学び、郷土愛を育む。	
	取組の概要	日時：8月8日（月）～8月9日（火） 会場：ゆべつのゆ、浜中海岸等 対象：小学4年生～6年生 参加：13名（参考：令和3年度6名） 内容：防災テント泊、野外炊事、浜遊び	
事務事業の	効果	共同生活を通し、リーダーの育成や団体行動、協力しあうことの大切さを学んだ。中学生及び高校生ボランティア各2名ずつに協力を得て、自然に触れ合う楽しさや地域に対する愛着を持つことができた。	
	課題と改善	社会のルールを学ぶ機会として、集団生活を通して様々な人と触れ合う機会をつくることでリーダーを育成し、実生活で活かせるようなプログラム作りを行った。 また、目的である郷土愛を育むという観点からも、町内でより魅力ある内容を検討し引き続き実施していく必要がある。	
点検・評価結果	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 共同生活を学び、愛郷心を育み、リーダーを育成する事業として必要性は高い。
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 自然体験や参加者同士での交流、1つのことに対し協力して作業をするなど、協調性の面での有効性は高い。
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い ボランティアの協力を得ることで充実した体験活動を実施することができた。
		達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 体験を通じて、自然に触れる楽しさや集団でのリーダー性、協調性を育むことができた。
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小
今後の方向性	年々参加者が減少しているため、興味を惹き付けるメニューの設定や周知方法の検討が必要。		
そ の 他			

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	社会教育		項目番号
項 目	地域による教育活動の推進		16
事務事業名	放課後子ども教室の開催		
事 業 費	116,929 円	担 当	住民学習推進係
事務事業の概要	目 的	放課後や週末等に小学校やウィズコムを利用して、子ども達の安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の大人がさまざまな体験活動を提供し、子ども達と触れ合うことで地域コミュニティの充実を図る。	
	取組の概要	期間：通年36回 会場：ウィズコム、総合体育館 対象：小学生 参加：延べ483名（参考：令和3年度287名） 内容：集団遊び（モルックを体験してみよう、キャッチボールマシン） ものづくり（マリオネットをつくろう！、ちぎり絵、ペン立てづくり、サンドアート、コロコロちゃん、くるくるレインボー、ハロウィンガーランド、コースターをつくろう！、クリスマスカードをつくろう！）	
点検・評価結果	事務事業の効果	子どもが学校や家庭ではできない体験活動を行う場として、工作や集団遊びなどを実施し、子どもの生きる力を育んだ。	
	事務事業の課題と改善	日中の限られた時間の中での事業のため、参画できる地域のボランティアが少ない。事業周知を強化し、携わることのできる町民を増やしていく。	
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 放課後の安全安心な居場所づくりや子どもの自主性・創造性等の人間性を育む事業として必要性は高い。
	総合評価	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 放課後の子どもの見守り、遊びやさまざまな体験活動を通しての子どもを育成する場として、有効な事業である。
総合評価	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い コーディネーターや学校・放課後児童クラブと連携を図り、効率よく実施している。	
総合評価	達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 体験活動メニューとしては充実した内容であり達成度は高いが、居場所づくりとして、地域人材の参画があまり得られていない状況にある。	
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 子どもの放課後活動の充実を図るため、事業を継続していく。事業周知を強化し、地域人材の発掘を図る。令和4年度で高校生企画を2度行ったが継続して高校生に子ども教室の企画実施を行ってもらおう。	
その他	道補助金「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」62,000円		

点検・評価調書

区分	社会教育		項目番号	
項目	地域による教育活動の推進		17	
事務事業名	二十歳の祝い			
事業費	94,757円	担当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目的	寿都で生まれ育った子どもが社会の仲間入りを果たすことへのお祝いをすると同時に、社会人としての自覚や礼儀を指導し、町への郷土愛を育む。また、自分たちの式を自分たちで準備する活動を通して、地域の活動へ参画するリーダー性を育成する。		
	取組の概要	日時：令和5年1月8日（日）14：00～ 会場：寿都町総合文化センター ホール 対象：当年度成人する学齢で町内小中学校卒業生及び町内在住者（対象32名） 参加：新成人19名（参考：令和3年度13名） 内容：式典（新型コロナウイルス感染症の影響により、時間短縮を図るため規模を縮小して開催）		
点検・評価結果	事務事業の効果	町を揚げて成人式を開催することで、町に帰って来たり同級生が一堂に会する機会となり、町に育まれてきたことを振り返ることで愛郷心を育んだ。 成人としての自覚や責任感について指導することができた。		
	事務事業の課題と改善	例年実行委員会形式で開催しているが、高校卒業後、町に残る人材が少なく、実行委員の担い手が不足している。しかし、一方的に町が対象者へ提供するものでなく、自ら作りあげる式典にすることで、当事者意識や人材育成、さらには町や式典に対する思い入れも大きくなるため、町外に滞在する対象者も実行委員として担えるシステムを検討し、実行委員会形式を継続する。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 町で生まれ育った者を祝う機会として、また新たな社会人としての責任感や自覚を指導する機会として必要性は高い。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 生まれ育った町に対して思い入れを持つきっかけではあるが、参加率が低いことから、有効性は低下しつつある。
効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 実行委員会形式で実施し、実行委員が作り上げる事業となっているが、委員の担い手が不足している。		
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 人材育成や愛郷心を育む事業として実施しているが、参加率の低さや実行委員の担い手不足という課題が残る。	
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 新成人が実行委員として主体性を持って式典づくりが行えるシステムを継続する。		
その他				

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	社会教育			項目番号	
項 目	地域人材の育成			18	
事務事業名	学校支援地域本部事業				
事 業 費	102,100 円	担 当	住民学習推進係		
事務事業の概要	目 的	地域の教育力を学校の教育活動に活かし、子ども達に充実した教育活動を進める。また、参加した地域人材が、子どもを通じた地域活動の担い手になる。			
	取組の概要	学校に対するボランティアの派遣延べ回数 計166回 朝の読み聞かせ：78回 水泳授業：35回 スキー：21回 家庭科授業：4回 総合・生活科：44回 道徳：1回 音楽：0回 学級活動：2回 理科：2回 社会：14回 保健：4回 図工：2回			
点検・評価結果	事務事業の効果	子ども達が地域の大人と向き合いふれあう環境ができ、学校での充実した教育活動を展開することができた。ボランティアにとっては、学校への派遣を通して地域づくりへ参画する人材育成となった。コミュニティスクールの導入で、各校にコーディネーターを配置したことで地域参画の幅が広がった。			
	事務事業の課題と改善	ボランティアの確保と支援内容の広がり課題。CSの意向を受けて、実際に活動できる地域づくりと人づくりを進めていく必要がある。また、ボランティアと学校との事前打合せが必要である。			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 学校の活動をより良いものにするために、地域の力を活用する仕組みは必要性が高い。		
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 地域の支援を得られることは、活動の質を高めることと地域の大人とのつながりをつくることができ、教育上有効に機能している。		
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い CSとの関係が深い事業であることから、ボランティアとの連絡調整がコーディネーターを通じ、学校と連携し実施できている。		
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ボランティアの育成と子どもの教育活動の充実が共に達成されている。			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 CSの一層の発展による「地域の学校」の実働事業として、活動を維持していく。そのため、コーディネーターの配置を行い、学校やボランティアのつながりを維持していくことが必要不可欠である。			
そ の 他	道補助金「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」65,000円				

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	社会教育	項目番号
項 目	住民の主体的な学習活動の支援	19
事務事業名	高齢者研修旅行の開催	
事 業 費	0 円	担 当 住民学習推進係
事務事業の概要	目 的	高齢者相互の交流と、町外においての学習活動により、生きがいと学習意欲の向上を図る。
	取組の概要	南後志4カ町村高齢者交流会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 対象は60歳以上で令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止の判断に至った。内容は高齢化社会が進む中、生きがいのある充実した生活を送るために、南後志ブロック各町村の高齢者が一堂に会し、日頃の活動の成果を発表し合い、親睦を深めながら仲間づくりを行う。
点検・評価結果	事務事業の 効果	高齢者交流会に参加することにより、普段会うことがない近隣町村の仲間との懇談により、生きがいを得られるとともに、活動発表の機会により、今後の活動意欲の向上につながる事業であるが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止という判断に至った。
	事務事業の 課題と改善	今後の開催に向け、活動の発表を行う方が固定化されているため、活動発表の場として広く募集をかける必要があるとともに、高齢者の活動の場を衰退させないため、コロナ禍での開催の工夫を行う必要がある。
総合評価	必要性	<input type="checkbox"/> 必要性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 令和3年度は中止という判断に至ったが、例年、生きがいや学習意欲の向上を図ることができている。
	有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 例年、他町の方と交流することで、親睦を深めあうことができている。
	効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 令和3年度は開催できていないが、例年、南後志4カ町村で持ち回りで実施することで、各町村の負担を軽減し、効率よく実施できている。
	達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 例年、アンケートを取ることで、ニーズを把握して事業を行うことができている。
	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 高齢者の生きがいづくりのため、事業を維持していく。
	今後の方向性	
そ の 他		

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	社会教育			項目番号
項 目	グローバル人材の育成			20
事務事業名	イングリッシュキャンプの開催			
事 業 費	150,000 円	担 当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目 的	外国人との交流を通して、言葉・文化の違いを体験し、より英語への関心を高めるとともに、国際理解教育の一環とする。授業の成果を発揮し、より積極的に会話できる語学力とコミュニケーション力を身につける。		
	取組の概要	令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため例年2日日程で倶知安町比羅夫地区で開催していたものを、1日に短縮し総合文化センターで行った。対象は小学5～6年生で内容はALT3名との生活を通して日常会話や外国の風習等の文化についてゲームを通して英語とコミュニケーション力を身に付ける。		
事務事業の効果	事務事業の効果	イングリッシュキャンプはグループでの活動で、ALTへの積極的なコミュニケーションや主体的に学ぼうとする姿勢が見られ、また、中・高校生サポーターに事業に携わってもらい活動し、充実した運営体制を取ることができた。		
	事務事業の課題と改善	本町の英語指導職員を含めALTが3名参加し、サポートしていただいている。他町村のALTにも協力してもらい開催できる事業であるため、早めに動き始めることが大切であり、コロナ化前のように多くの外国人が訪れる倶知安町周辺を会場に、初めて会う外国人達に積極的に声を掛けられるように、スタッフで働きかけが必要である。		
点検・評価結果	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 学校で学んだ英語が実際に使えることを実感できる他、期間中に覚えた英単語を使う等、学習意欲の向上が見られるため必要性は高い。	
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 令和3年度も中止という判断に至ったが、例年、ALTの協力により活動をスムーズに行うことができ、有効な事業展開ができています。	
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 例年、事前準備の点では業務量は多くなっているが、事前に連絡を取りスムーズに実施できているため、作業工程を継続していく。	
		達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 例年、自分の英語が通じることを体験し、意欲的に外国人とコミュニケーションをとる様子が見られることから、達成していると考えます。	
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方向性	倶知安比羅夫地区での事業は、多くの外国人がいることや目的達成のための環境があることから、寿都の子ども英語力を向上させる事業として、継続して実施する。			
そ の 他				

点検・評価調書

区 分	社会教育		項目番号
項 目	グローバル人材の育成		21
事務事業名	英語サロンの開催		
事業費	0円	担 当	住民学習推進係
事務事業の概要	目的	外国人英語指導職員のネイティブな指導による学習機会を提供し、英語でのコミュニケーション力・英語力の向上を目指すきっかけづくりとする。	
	取組の概要	2月～3月の毎週水曜15:00～16:00の日程で開催。会場を寿都町総合文化センターで開催し、対象は全町民としている。 全7回開催 延べ7名参加 内容は英会話の習得「英語サロン」 ※その他 資格取得を目指す「英検補習室」9月 レベルやニーズごとに個別レッスン（随時）	
点検・評価結果	事務事業の効果	長期的、定期的に英語を学ぶ機会を設けたことにより、参加者のレベルアップが図られ、英語を「使える・通じる」という自信を持たせることができ、英語を「使える」人材の育成が図られている事業である。	
	事務事業の課題と改善	英会話を学んだ町民が、英会話を活かせる場が必要。また、サロン参加者を町の国際環境を発展させる人材として活用し、児童生徒の英語教育環境の整備などを検討することが必要。	
総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 令和3年度は開催できていないが、時代背景もあり、今後さらに必要性が高くなる。	
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い レベルやニーズの違う参加者が同じ教室で学ぶため満足度に差がある。 レベル毎にクラス分けをすることで、内容が充実し習得に有効となる。
	効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 参加者ニーズに合わせた教室を開催することで、内容が精査されるためより効率良く教室を運営することができる。
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 参加者にとっては貴重な学習機会になっている。外国人英語指導職員を最大限活用し、教室の開催を継続する。
	事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小
今後の方向性	継続して受講する参加者も多く、回を重ねる毎に参加者の英語力の向上を図ることができている。グローバル化が進む中、国際社会に対応できる人材の育成は必要である。参加者の習熟度、時間配分、日程など参加者がより受講しやすい内容となるよう検討し、継続する。		
その他			

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	社会教育		項目番号	
項 目	読書環境の整備		22	
事務事業名	文化センター図書室の充実			
事 業 費	3,990,767 円	担 当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目 的	文化センター図書室を誰もが読書のできる環境として整備し、町民の学習活動支援や潤いある生活の一助となる環境とする。読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条）であり、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境を整備する。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・図書運営員（2名）の配置 ・古い図書の除籍及び定期的な新刊の購入と配架 ・町内小中学生を対象とした読書感想文コンクールの実施 ・学校へ図書を定期的に貸し出す「移動図書」の実施（月1回） ・図書運営員が寿都小へ出向き、児童に図書を貸し出す「出張図書室」の実施 ・ブックフェスティバルの開催 ・年間来場者数：3,225名（参考：令和3年度3,357名） 		
点検・評価結果	事務事業の効果	本棚の配置換え等、利用者が利用しやすい読書環境を整備することができた。古い本を除籍することで、見やすい本の展示に幅が広がった。		
	事務事業の課題と改善	ブックフェスティバル等のイベント行事や学校との連携など、図書室へ来るきっかけや魅力ある環境づくりのPRにより、利用促進に努める必要がある。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 町民の読書環境整備は、学習環境として欠かせないものである。	
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 利用者からのリクエストに可能な限り応えながら、新刊の購入や配架、古い図書の除籍等整備を行っている。	
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 利用統計を基に、円滑な運営ができています。	
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 図書室の規模として、利用しやすい環境になっている。	
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 利用促進のため、町民のニーズを把握する他、ブックフェスティバル等のイベントの開催、町民が足を運ぶきっかけづくりを積極的に行っていく。また、図書システムの導入により町民に利用しやすい図書室になるよう努める。		
そ の 他				

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	運動・健康づくりの推進			項目番号
項 目	生涯スポーツ活動の促進			23
事務事業名	体育団体への支援			
事業費	1,679,043 円	担 当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目 的	町民の自主的なスポーツ活動を促進し、技術の向上や健康・体力の維持増進、並びにスポーツ活動を通じた仲間づくり。		
	取組の概要	寿都町体育協会及びスポーツ少年団本部に対する活動費の支援、スポーツ活動環境の提供。		
事務事業の効果	事務事業の効果	活動費の支援や環境の提供により、団体それぞれにスポーツ活動の円滑な促進が図られた。		
	事務事業の課題と改善	環境整備において、より利用しやすい環境となるように可能な限り団体からの要望を把握し整備に努めながら、各施設の清掃やシーズン準備と片付けなど団体ができる範囲で協力してもらうよう促すなど、自助努力の意識付けが必要。 体協・スポ少ともに各スポーツ単体の活動で精一杯であり、町のスポーツ振興や促進のため組織のあり方について、役員と協議が必要である。		
点検・評価結果	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 地域の自主的な活動によるスポーツ振興に対して適切な支援が必要ではあるが、支援に頼らない自主性を高めることが必要である。	
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 補助金やスポーツ環境を提供することで、円滑で充実したスポーツ活動が実施されている。	
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 行政が提供する補助や環境の範囲内で、地域スポーツ活動が実施されている。	
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 団体が要望する補助や環境を概ね提供できている。	
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方向性	町民の自主的な運動習慣に資すること及び地域におけるスポーツ活動による子どもの体力向上に資するため、団体からの要望に可能な限り応えながら継続していく。			
そ の 他	(補助額内訳) 体育協会884,485円 スポーツ少年団794,558円			

点 検 ・ 評 価 調 書

区 分	運動・健康づくりの推進	項目番号	
項 目	生涯スポーツ活動の促進	24	
事務事業名	スポーツ教室の開催		
事 業 費	364,000 円	担 当 住民学習推進係	
事務事業の概要	目 的	誰もがスポーツに親しむことができるよう、また町民のニーズに応じた選択ができるようにスポーツ教室を開催することで、幅広い年齢層のスポーツ人口拡大や町民自らの健康管理促進、スポーツの習慣化を図る。	
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ジュニア水泳教室 全5回 延べ参加者数62名 ・後期ジュニア水泳教室 全5回 延べ参加者数67名 ・低学年ジュニアスキー教室 雪不足のためスキー場閉鎖し中止 ・ジュニアスキー教室 全5回 延べ参加者数34名 ・ベビースイミング教室 全2回 延べ参加親子6組6名 ・一般スキー教室 全5回（対象：中学生以上一般） 延べ参加者数37名 	
点検・評価結果	事務事業の効果	スポーツの楽しさを実感させることと同時に、運動による健康づくりについて興味・関心を持たせる機会となった。	
	事務事業の課題と改善	幅広く町民が運動する機会を多く設けたが、多くの町民の参加を募る必要があるため、より一層の周知が必要である。	
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 健やかな町民を増やすため、日常的な運動習慣のきっかけとして教室を開設する必要性は高い。
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 教室終了が運動習慣の終了となっているケースが多いため、運動習慣を定着させる工夫や呼びかけが必要である。
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 地域の人材を講師とすることで、地域のスポーツ活動との関係性を築くことにもつながっている。
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 参加者にスポーツの楽しさについて伝える機会となった。
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小
今後の方向性	町民の日常的な運動習慣の定着や健康づくりのため、事業を維持していく。		
そ の 他			

点検・評価調書

区 分	運動・健康づくりの推進			項目番号	
項 目	生涯スポーツ活動の促進			25	
事務事業名	体育施設の利用促進				
事業費	60,000 円	担 当	住民学習推進係		
事務事業の概要	目的	町民の健康づくりに資するため総合体育館を拠点とし、幅広く町民の運動機会を拡大していく。			
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動教室及びイベントの開催 ・ウォーキングデッキの早朝開放等 ・町民プールの料金無料化（H25～） ・風太公園ソフトボール場照明料の町内体育団体無料化（H28～） ・テニスコート及び町民スキー場の使用料無料化（H30～） 			
点検・評価結果	事務事業の効果	<p>新たな事業や施設整備により、体育施設の利用促進が図られた。</p> <p>総合体育館利用者 22,494 名（参考：令和 2 年度 23,942 名） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体的に人数は減少している。</p>			
	事務事業の課題と改善	運動人口が増加に向け、体育施設を利用する町民・団体の利用日程や時間等が重複しないよう慎重に調整を図る必要がある。			
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 日常的な運動習慣による町民の健康づくりのため、利用促進を図る必要性は高い。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 新たな運動教室の開設等、町民のニーズに応えられる環境整備を行い、これまで運動習慣のなかった町民の利用もみられた。		
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 新たな教室の実施委託や町内団体によるイベントの開催等、各所と連携しながら実施した。		
達成度		<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 昨年度より体育施設利用者は新型コロナウイルスの影響で減少したが、各種運動教室開設等で町民の利用促進が図られた。			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 既存の体育館利用団体との調整を図るとともに、利用促進に資する教室などの PR を強化しながら、さらなる利用促進を図っていく。			
その他					

点検・評価調書

区分	運動・健康づくりの推進			項目番号
項目	運動による健康づくりの推進			26
事務事業名	健康運動教室、イベントの実施			
事業費	2,140,000円	担当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目的	町民の運動に対する意識を変え、ライフスタイルに運動習慣を定着させ、運動による健康づくりを促進する。		
	取組の概要	<p>北翔大学及びNPO法人ソーシャルビジネス推進センターへの委託事業。健康運動指導士などの専門指導者による運動教室及びイベントの実施。 運動教室事業（延べ66回） <動く！サーキットトレーニング・アンチエイジング体操・マシントレーニング相談日・水中運動・シェイプエアロ・ヒップと体幹> 延べ参加者 合計 575名</p> <p>運動イベント ※令和4年度の運動イベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <いきいき元気度測定会・健康フェア・さわやか元気広場・ミニ運動会></p>		
点検・評価結果	事務事業の効果	日常的に体育館を活用し（教室参加者含む）、運動習慣が定着した町民が増加している。教室の参加者から体の不調が改善したという声もあり、継続的な運動の効果が実感されている。町民が体育館に足を運ぶ機会を増やし、多世代間交流を深める目的は達成された。		
	事務事業の課題と改善	樽岸～磯谷地区の住民及び病気改善を必要とする町民の運動機会の確保について、町民課と役割をすみ分けして進める必要がある。令和4年度のイベントは中止の判断に至ったが、当初の目的が達成されてきていることから、教室にウェイトをシフトしていくなど、見直しが必要である。教室のメニューに参加者の声が反映されるよう委託業者と協議が必要。		
総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 町民の運動習慣を定着させるため、ニーズのある教室・イベントの開催が必要である。		
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 教室開催期間中の参加者の運動習慣は確保されている。	
	効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 北翔大学やNPOと提携し、専門の指導者による教室を通年で開催できている。	
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 教室参加者の健康づくり意識は向上しているが、病気改善などで運動が必要な町民の参加につながるよう、関係部局と連携し参加拡大を図る。	
	今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 継続事業として継続し、多世代間交流には十分目的を達成できたことから、イベントの回数を教室にシフトしていき、さらに町民の運動習慣の定着を目指す。	
その他				

点検・評価調書

区 分	運動・健康づくりの推進		項目番号
項 目	運動による健康づくりの推進		27
事務事業名	歩こう会の開催		
事業費	0 円	担 当	住民学習推進係
事務事業の概要	目 的	町民が一堂に会し、誰もが気軽に取り組めるウォーキングを通してスポーツの楽しさや大切さを実感してもらい、健康づくりや体力向上の一助としてスポーツの習慣化を促進する。	
	取組の概要	令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・例年9月第1日曜日に寿都温泉ゆべつのゆ周辺で開催。 ・全町民を対象とし参加者は30～50名程度。	
点検・評価結果	事務事業の 効果	ウォーキングを通して町民相互の交流が図られ、運動の楽しさを実感する機会となっているが、令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止の判断に至った。	
	事務事業の 課題と改善	参加者によって、歩く距離や場所等の要望があるが、より多くの町民のニーズに応えられるコースや内容について検討する。	
総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 異世代を対象として実施できる運動事業であり、町民相互の交流機会の場としても必要性は高い。	
		有効性	<input type="checkbox"/> 有効性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 日常的な運動習慣の定着までには至っていないが、運動習慣の啓発を行うことで町民の意識変化を促進することができる。
	効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 令和3年度は中止という判断に至ったが、例年、各所と連携し、概ね充実した内容を提供することができている。
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 年々、参加者数は減少傾向にあるが、より多くの町民に運動の大切さや楽しさを実感してもらうことができている。
	事業規模		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小
今後の方向性	当事業は長年継続して実施してきており、毎年楽しみにしている参加者も多くいる。また、ウォーキングは対象者が幅広く、誰もが気軽に取り組める運動であり、健康づくりのために推進すべき運動である。コース、距離、日程など多くの町民がより参加しやすい内容となるよう、検討し継続する。		
そ の 他			

点検・評価調書

区 分	健康・スポーツ			項目番号
項 目	食育と学校給食			28
事務事業名	食育の推進			
事業費	0円	担当	食育センター業務係	
事務事業の概要	目的	児童生徒に対して、食材の生産から店頭販売までの流通や、給食ができるまでの人の関わりを紹介、命をいただくことへの感謝など、食育を通して健康と食生活習慣の向上を図る。		
	取組の概要	各小中高校での栄養教諭による給食指導や、寿都高校での食中毒防止の講習会を行うなど、食育の推進を図る。地産地消による町内食材の紹介、提供、町内生産者の紹介、給食メモによる話題の提供を行う。		
点検・評価結果	事務事業の効果	各小中高校への給食を通じた1日の食生活バランス、給食の必要性と食材を通じた体への関わり、生産・流通を通じた人と人の関わり、食材の大切さを伝えた。		
	事務事業の課題と改善	食育センターや各小中高校での授業・指導、また、教育局や保健所による給食指導など、児童生徒への給食事業が増加しているため、限られた時間のなかでの調整、内容の検討を含めた工夫が必要。		
総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 児童生徒の健康・体力向上の基礎となる食育については必要性は高い。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 食育について、生産者・物流・小売・調理など、人との関わりを理解するための有効性は高い。		
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 献立表による児童生徒の家庭への提示により、学校での栄養量を示し家庭での食事について関わりができています。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 授業や給食指導による残食量の減少は顕著に現れ成果を上げている。		
	達成度			
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 各学校への指導時間について、授業の資料を活用するなど内容の充実を図っていく。		
その他				

点検・評価調書

区分	健康・スポーツ		項目番号	
項目	食育と学校給食		29	
事務事業名	食育センターの運営			
事業費	42,670,771 円	担当	食育センター業務係	
事務事業の概要	目的	食育及び木育の推進、児童生徒へ安心安全な食材を使用した給食の提供。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食への異物混入防止 ・食材の動線図・作業工程表の作成や清掃作業の徹底による食中毒防止 ・町内での生産食材の紹介及び提供 ・食育センターの機械等の維持管理 		
点検・評価結果	事務事業の効果	異物混入の減少、各学校への迅速な連絡体制が確立できた。動線を書くことで食材の動きが見えたうえ、清掃作業を徹底することで食中毒の防止が図られた。また、一般会計からは、町内で生産される食材購入費に100万円、ベーカリー寿からの給食用パンの購入については、50万円から80万円に予算を増額し、地産地消の取組を積極的に実施した。		
	事務事業の課題と改善	<p>今後も安心安全な学校給食を提供するため、作業準備確認、作業前点検・作業後の調理器具・機材点検の複数者での確認の継続が必要。（令和4年度は1件の異物混入があった）</p> <p>研修・講演への参加、資格取得による調理員の資質向上推進を今後も維持する。北海道産を優先した食材の提供、地元食材の提供を継続。（令和4年度：地産地消食材提供79回・ベーカリー寿の給食用パンの提供17回）</p>		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 給食の提供を行政が行うことにより、保護者の安心安全に係る信頼性があり、必要性は高い。	
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 安心安全な学校給食の提供、町内外団体・小学校児童の研修・見学の場として活用されているため、有効性は高い。	
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 北海道産の食材を中心に安心安全な給食が提供できている。 保守点検による食育センターの運用ができています。	
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 安心安全な給食を提供するため、食材の確保、食育センターの点検、調理員の資質向上は進んでいるが、異物混入は防止できなかった。	
		事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方向性	研修会の参加を通し、衛生面での向上と調理器具・機材の点検、清掃作業の重視を心がけ食中毒・異物の混入防止と施設作業効率を改善し、調理員の資質向上を目指す。また、学校給食を通しての郷土料理、行事食の紹介を進める。			
その他	児童生徒の食の研修・実習・講習の場としての活用を図りたい。子供教室などでのセンターの活用を検討する。			

点検・評価調書

区分	文化の伝承・振興		項目番号	
項目	地域文化の振興		30	
事務事業名	総合文化祭の開催			
事業費	0円	担当	文化推進係	
事務事業の概要	目的	町民の文化活動への参加、地域文化の交流発展のため、また町民の目に触れることによる文化団体の組織強化、活動推進を図るため開催する。		
	取組の概要	令和4年度については、芸能発表や物販等は中止とし、2週間の期間で作品展示のみの開催 期間：10月29日（土）～11月11日（金） 会場：寿都町総合文化センター 内容：陶芸、帯アート、絵画作品、写真、習字、トールペイント、俳句・短歌、貼り絵等		
点検・評価結果	事務事業の効果	出演者にとって年に1度の町内発表の場として各団体の目標となり、活動意欲の向上につながっている他、出展者の中には本事業での収益が活動費の大部分を占めている団体もある。文団連との共催により、それぞれの団体が当事者意識を持ち開催するため、団体活動の自主性を育む機会となっている。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため芸能発表や物販等は中止とし、2週間の期間で作品展示のみの開催とした。		
	事務事業の課題と改善	個人や団体、町外団体、作品展、芸能発表などの参加者数は増加しているが、芸能発表の観賞者は減少傾向にある。もちまきをうまく活用し、盛り上がる内容にする。また、コロナ禍での開催については、今後感染対策等工夫し開催できるよう検討する。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 年に一度の文化活動の目標として必要な事業である。	
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 文団連の活動が活発になるとともに、町民が文化祭において展示や発表を見て地域の文化に触れることで教養の向上が図られている。	
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 各団体や多くの町民と関わりをもって一つの文化祭を創り上げることができ、発表者や来場者の増加につながっている。	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 来場することで展示や発表等を見て、町民が文化にふれる機会となっている。今後も文化団体の活性化につなげていきたい。		
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 引き続き幅広い分野から参加を呼びかけ、誰もが気軽に参加できる環境を検討する。また、町民が創り上げる文化祭をより魅力的にPRする内容について検討し継続する。		
その他				

点検・評価調書

区分	文化の伝承・振興		項目番号	
項目	地域文化の振興		31	
事務事業名	芸能鑑賞事業の開催			
事業費	686,210 円	担当	文化推進係	
事務事業の概要	目的	町民が生の芸術文化に触れる機会を提供し、芸術文化への関心を高めるとともに、生活の中に心の豊かさとゆとりを持つ大切さを実感してもらう。		
	取組の概要	令和4年度については、対象を小・中・高校生に絞りアクロバットショーを観覧した。		
点検・評価結果	事務事業の効果	芸能に触れる機会として、町民にステージを通して元気と活力を与えることができおり、また、実行委員会形式で開催し、町民が主体となって当事者意識を持ち町づくりに参画する人材育成の機会ともなっている。		
	事務事業の課題と改善	実行委員の固定化や長く実行委員をやっている方からは、世代交代が必要との意見がでているため、新たな人材の発掘が必要である。また、コロナ禍での開催については、今後感染対策等工夫し開催できるよう検討する。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 町民へ質の高い芸能文化を届けることは、町の文化振興にとって必要性が高い。	
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 実行委員会が主体となることで、地域に参画する人材育成の場としても有効である。	
		効率性	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 行政主導ではなく実行委員会で十分に協議し、実行委員会が主体として実施している。	
達成度		<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 令和2年度は中止の判断に至ったが、多くの町民が芸能文化に触れる機会として参加している。町民が芸術文化に触れる機会を提供できている。		
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 限られた予算の中で多くの芸術文化に触れる機会を得られるよう工夫する。		
その他				

点検・評価調書

区 分	文化の伝承・振興		項目番号	
項 目	地域文化の振興		32	
事務事業名	文化団体連絡協議会への支援			
事業費	154,417 円	担 当	文化推進係	
事務事業の概要	目的	ゆとりと生きがいのある人生を過ごすためには、自ら主体的に学び自己を高め心豊かなことが大切であり、地域社会とのつながりを持ちながら活動し、公共性やボランティア意識の高い町民を養成するため、社会教育団体に助成支援を行う。		
	取組の概要	文化団体連絡協議会へ活動費の支援や、活動環境の提供。		
点検・評価結果	事務事業の効果	町民の自主的な文化活動により、町の文化振興発展が図られたと同時に、活動を通して生活に張りや活力、潤いを持たせることができた。		
	事務事業の課題と改善	高齢化による会員不足により、団体として活動を維持できず休会や活動の停滞傾向が目立つ。新規団体の文団連加入を促進し、自主活動の母体強化を図る必要がある。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 文化団体連絡協議会は町の文化振興発展の担い手であり、支援を行っていく必要性は高い。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 活動環境や補助金による支援により、文化活動を維持・運営することができている。
		効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 支援することで、円滑な自主活動ができている。
達成度			<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 自主的な文化活動を実施できているが、一方で各団体ともに次世代の担い手不足や高齢化、会員不足等の組織の衰退が目立つ。	
	今後の方向性	事業規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 これまでと同様に支援を継続すると同時に、新規会員の加入や新規団体の加入など基盤強化についての方策を検討する。		
その他				

点検・評価調書

区分	文化の伝承・振興		項目番号	
項目	文化財の保護・活用		33	
事務事業名	歴史的資源の保存活用			
事業費	7,828,590円	担当	文化推進係	
事務事業の概要	目的	国指定史跡及び道指定有形文化財である「カクジュウ佐藤家」や歴史的建造物の「橋本家」など、町の貴重な歴史的資源を後世へ継承するとともに、教育や観光等に活用し「歴史を活かしたまちづくり」を推進する。		
	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤家及び橋本家の維持管理 ・寿都町歴史文化基本構想に基づき「寿都のお宝」の掘り起こしや調査等を行う体制を確立する。 		
点検・評価結果	事務事業の効果	町が所有する文化財を適切に管理・整備し、一般開放へ向けた準備を行った。すつつ湾お宝会議及びお宝勉強会が活動することで、町の魅力の再発見や寿都のお宝を広くPRすることができた。		
	事務事業の課題と改善	佐藤家及び橋本家を早期に解放できるよう環境整備を進める必要がある。町の歴史的資源を教育や観光等に活用し「歴史を活かしたまちづくり」を実現していく。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 町の貴重な文化財等の保存・活用を図る必要性は高い。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 体験学習や観光等の拠点として幅広く活用するため、文化財などの保存整備は有効性が高い。
		効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 国や道の補助金を活用しながら、保存整備を進めている。
達成度			<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 計画どおり保存整備を行った。また、活用に向けての調査や方策についても検討を継続している。	
	今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 文化財であるカクジュウ佐藤家や歴史的建造物の橋本家を一般開放し、町民をはじめ多くの方々に寿都の魅力を知ってもらい、歴史的資源を有効活用し、様々な施策へ反映させることで歴史や文化を後世に継承していく。	
その他				

点検・評価調書

区分	文化の伝承・振興		項目番号	
項目	文化財の保護・活用		34	
事務事業名	旧歌棄佐藤家漁場保存活用計画策定準備			
事業費	18,315,000円	担当	文化推進係	
事務事業の概要	目的	旧歌棄佐藤家漁場の適切な保存と活用の方針を定め、後世に伝えていくための基本的な計画として策定する。		
	取組の概要	国指定史跡旧歌棄佐藤家漁場は、平場にある主屋や漁撈用の「建物跡」・前浜の「袋澗」・段丘部の「干場」という要素が欠くことなく残り、明治期の北海道西岸における鯨漁漁場の佇まいを今に伝える貴重な遺構であり、保存活用計画策定に向けた、資料調査、樹木・植生調査、部材調査、3D測量調査、古文書調査、史跡指定区域境界標確定業務等を行った。		
点検・評価結果	事務事業の効果	旧歌棄佐藤家漁場の保存活用計画策定は今後の史跡の保存及び整備のために重要な計画であり、今後の施設の保存活用に向けた検討を行った。		
	事務事業の課題と改善	保存活用計画の策定が完了し、整備基本計画に移行する中で、史跡について、町民全体が知識や関心を持つような取り組みを進めていくことが、史跡を生かすために重要である。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 貴重な史跡であり、旧歌棄佐藤家を後世へ継承していくためにも、保存整備を行っていく必要性は高い。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 国の史跡ということもあり、非常に貴重な遺構であるため、保存整備は有効性が高い。
		効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 国や道の補助金を活用しながら、保存整備を進めている。
			達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 計画どおり保存活用計画の策定に向けた調査等を実施し、整備に向けても進んでいる。
今後の方向性	事業規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 令和5年度から整備基本計画準備を進めていく。		
その他				

点検・評価調書

区分	生涯学習環境		項目番号	
項目	学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備		35	
事務事業名	社会教育、社会体育施設の管理運営			
事業費	95,164,708 円	担当	住民学習推進係	
事務事業の概要	目的	町民の生涯学習推進やスポーツ振興、健康づくり促進のため、安全で充実した環境を提供するよう維持管理及び運営に努める。		
	取組の概要	各施設の管理・維持運営 総合文化センター（ホール照明設備等改修）、総合体育館、町民プール、町民スキー場、テニスコート、風太公園ソフトボール場・多目的グラウンド、青少年研修会館、各地区会館、樽岸生涯学習研修会館、湯別自然学習会館		
点検・評価結果	事務事業の効果	修繕等を行い安全で充実した施設設備を提供できた。調整会議を行い各団体や町民が幅広く利用できる環境をつくり運営できた。		
	事務事業の課題と改善	特に総合文化センターの設備で経年劣化が激しく、不具合箇所を適切に把握し計画的に修繕を行い維持を図っていく。 社会体育施設についても、利用者の使いやすい環境整備等を推進していく。		
	総合評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性は高い <input type="checkbox"/> 必要性はやや高い <input type="checkbox"/> 必要性は低い 町民の学習、スポーツ・運動の活動場を安全で利用しやすい施設環境に維持することが不可欠である。	
			有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性は高い <input type="checkbox"/> 有効性はやや高い <input type="checkbox"/> 有効性は低い 利用しやすい環境とシステムがあることにより、町民が主体的に活動する意欲が高まり、活動促進につながっている。
効率性		<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 総合文化センターの設備修繕には膨大な予算がかかる。一度に全ての設備を修繕することは困難であるため、長期的計画を持って確実に進める。		
		達成度	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 利用者にとって概ね満足度の高い活動環境として管理運営できている。	
今後の方向性	事業規模		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> やや拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> やや縮小 <input type="checkbox"/> 縮小 総合文化センター ・今後大規模改修を検討する。	
その他				

資 料

7 全体評価について

令和4年度の寿都町教育委員会の権限に属する事務及び事業について、町並びに町議会の深い御理解により、寿都町教育行政執行方針に基づき、遂行することができましたことに感謝申し上げます。

ここでは、6つの項目により、その執行状況の全体的な評価をしております。

家庭教育では、町民課健康づくり係と連携し、就学前の乳幼児とその保護者が抱える悩みやニーズを元に必要な学習機会を提供しました。これにより、保護者の不安解消や保護者同士のつながり、家庭で事前に取り組む意識の向上を図ることが出来ました。

学校教育では、児童生徒の「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を育成するため、また、「信頼される学校づくり」を目指して、各学校においてそれぞれの取り組みを行いました。

さらに、先進的な取り組みとして、ICT機器の活用、英語教育、コミュニティ・スクール、を実践しており、地域資源を活用した体験的な学びを通して、児童生徒の興味関心、考える力、探究心など学びの広がりや深まりに繋がっていること、地域と学校のつながりが深まってきているという成果が見られます。

社会教育では、子どもから高齢者まで生涯にわたり、自ら主体的に学び、自己を高めるための各種事業を行い、地域ボランティアの活用や子供たちが安心安全により多く参加できるよう、学ぶ機会の提供に努めました。

運動・健康づくりでは、年間を通して健康運動教室の開催するなど、住民が参加しやすく、自分の健康運動習慣づくりに直結できるような取り組みを実施し、ライフワークの中に運動が習慣付けられつつあり、健康意識の向上を図ることができました。

文化の伝承・振興では、「漁場建築佐藤家」及び「橋本家」を引き続き、教育活動や観光業等に活用するため、必要な調査、申請、環境整備を進めてきました。佐藤家については、保存活用計画を策定し、整備に向けた整備基本計画の策定準備へとつなげてまいります。

生涯学習環境では、各種施設が安心安全に利用できるよう、施設の改修や充実を図りました。また、文化センターを中心とする各施設の老朽化による機械設備等の改修が必要な時期となっているため、計画的に改修を行っております。

社会体育施設では、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から社会体育施設の利用者数が減少しておりますが、今後も各種事業を継続するとともに魅力ある事業作りを行い、利用者数の増加及び利活用の推進を図ってまいります。

この度の評価を基に、課題の改善や効果的な推進に向けて、担当係を中心に関係組織・機関、首長部局とも十分に協議・連携しながら、寿都町の教育振興の更なる発展に繋げてまいります。

令和5年9月

寿 都 町 教 育 委 員 会
教 育 長 有 田 千 尋

学校の児童生徒・教職員数

令和4年5月1日現在

児童生徒数

学 校 名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
寿都小学校	12	11	14	19	18	11	85
潮路小学校	1	8	6	5	3	9	32
小学校 計	13	19	20	24	21	20	117
寿都中学校	19	21	12				52

教職員数

(道費負担職員)

学 校 名	教職員	養護教諭	栄養教諭	事務員	非常勤 講 師	合 計
寿都小学校	12	1	1	1		15
潮路小学校	7	1		1		9
寿都中学校	11	1		1		13

(町費負担職員)

学 校 名	学 習 支援員	英語指導 員	校務補	合 計
寿都小学校	3		1	4
潮路小学校	3	1	1	5
寿都中学校			1	1

令和4年度 社会教育施設利用人数一覧

	ウィズコム			ウィズコム 展示室			ウィズコム 図書室			ウィズコム 合計			総合 体育館			風太公園多目的 グラウンド			風太公園 ソフトボール場			テニスコート			町民プール			町民スキー場			寿都小学校			寿都中学校		
	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較	R4	R3	比較			
4月	453	653	△200	14	13	1	237	327	△90	704	993	△289	2,248	2,539	△291	0	60	△60	43	14	0	120	167	△47	542	560	△18	232	234	△2	99	39	60			
5月	642	1,236	△594	81	10	71	278	147	131	1,001	1,393	△392	1,970	1,062	908	257	190	67	77	82	△5	237	179	58	680	360	320	251	142	109	83	10	73			
6月	680	1,465	△785	21	0	21	323	137	186	1,024	1,602	△578	2,477	737	1,740	64	59	5	57	60	△3	224	166	58	747	211	536	101	275	△174	84	9	75			
7月	1,882	1,015	867	26	19	7	313	332	△19	2,221	1,366	855	2,298	1,517	781	120	92	28	91	111	△20	288	225	63	1,432	1,148	284	198	138	60	50	177	△127			
8月	481	336	145	75	25	50	292	276	16	848	637	211	1,753	1,725	28	72	4	68	42	68	△26	193	203	△10	1,152	889	263	47	295	△248	44	26	18			
9月	491	228	263	26	5	21	275	306	△31	792	539	253	1,804	1,803	1	48	44	4	59	251	△192	249	175	74	789	619	170	86	380	△294	50	47	3			
10月	958	2,484	△1,526	41	22	19	289	320	△31	1,288	2,826	△1,538	2,047	2,402	△355	24	35	△11	50	93	△43	93	229	△136	553	534	19	0	293	△293	57	57	0			
11月	1,731	1,397	334	12	31	△19	249	406	△157	1,992	1,834	158	2,230	2,789	△559										495	514	△19	221	273	△52	142	136	6			
12月	641	1,035	△394	36	3	33	233	333	△100	910	1,371	△461	2,079	2,597	△518										367	424	△57	174	240	△66	121	140	△19			
1月	586	424	162	8	18	△10	241	219	22	835	661	174	1,753	1,653	100										289	222	47	400	1,191	△791	115	173	△58	86	79	7
2月	444	1,233	△789	8	20	△12	243	286	△43	695	1,539	△844	2,042	1,469	573										271	172	99	1,240	1,079	161	115	237	△122	80	71	9
3月	837	772	65	14	6	8	252	268	△16	1,103	1,046	57	1,407	2,201	△794										190	47	143	123	178	△55	78	262	△184	96	140	△44
累計	9,826	12,278	△2,452	362	172	190	3,225	3,357	△132	13,413	15,807	△2,394	24,108	22,494	1,614	585	424	161	419	665	△246	1,404	1,344	60	7,487	5,700	1,787	1,763	2,448	△685	1,618	2,942	△1,324	992	931	61